

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【公開番号】特開2017-61240(P2017-61240A)

【公開日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2015-187699(P2015-187699)

【国際特許分類】

B 6 0 R 16/033 (2006.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

B 6 0 R 16/04 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 16/033 B

H 0 2 J 7/00 3 0 2 C

H 0 2 J 7/00 S

B 6 0 R 16/04 W

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

回路401はリレー101に流れる電流(以下「第1電流」と称す)をその流れる方向も含めて検出する。後述するように第1電流の流れる向きが充電方向であるか、その逆方向であるかを了知するためである。充電方向は主電池1及び副電池2が給電する電位の接地電位に対する正負で決まる。よって車載用電源装置100において採用される主電池1及び副電池2の構成が既知であれば、充電方向も既知であり、第1電流の流れる向きは第1電流の正負から了知できる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

あるいは、主電池1及び副電池2が接地電位に対して負の電位で給電する場合、充電方向は副電池2から主電池1へ向かう方向である。この場合に、主電池1から副電池2へ向かう方向を正にとって第1電流を検出すれば、第1電流が負値のときには第1電流の流れる方向は充電方向である。また第1電流が正値のときには第1電流の流れる方向は充電方向と逆方向である。副電池2から主電池1へ向かう方向を正にとって第1電流を検出すれば、第1電流が正値のときには第1電流の流れる方向は充電方向である。また第1電流が負値のときには第1電流の流れる方向は充電方向と逆方向である。